

	利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開	
--	---------------------	--

担当講師名

鹿児島県介護福祉士会
会長 田中 安平

研修領域	実施期日	会 場
ケア領域	令和7年9月19日（金）	沖縄県総合福祉センター西棟4階本会事務局 （zoom ミーティング実施）

到達目標

- ①豊かな人間観と、利用者への全人的、共感的、多面的な理解に立ち、利用者の尊厳が保持された状態の実現に向けた実践の改善にチームで取り組むことができる。
- ②利用者の生活スタイル、生活経験、心理、社会関係、地域を含めた生活環境などを含めて、利用者の生活全体をとらえ、生活全体を支援する視点から職務にあたる。

修了時の評価ポイント

- ①利用者の尊厳が損なわれている状況及び利用者の尊厳を損なうケアについて、また、利用者の尊厳が保持された状況及び利用者の尊厳を支えるケアについて、家庭における生活場面、介護サービスを受ける場面などの事例に基づいて具体的に説明できる。
- ②身体拘束が起こる背景や要因及びチームとしての改善策について、事例に基づいて説明できる。

テキスト・使用教材等

参考図書

- ・ミルトン・メイヤロフ著『ケアの本質』ゆみる出版
- ・川本隆史編『ケアの社会倫理学』有斐閣
- ・石川道夫・田辺稔編集『ケアリングのかたち』中央法規出版
- ・村田久行著『ケアの思想と対人援助』川島書店
- ・田中安平著『新・介護の本質』インデックス出版

自職場等課題

【事前課題の内容】

自職場における、利用者の尊厳が守られていないと思われる事例に対する「日常的な実践内容」を具体的に記述し、なぜそのような援助がなされるのか、どうすれば尊厳を保持した支援につながるのか、あなたの考えを述べてください（1200字以上1600字以内）。

【事後課題の内容】

講義を受けた後で、利用者の尊厳の保持のために職員の意識・態度、もしくは自分の意識・態度が変化したと思われる事例について、具体的にどこがどのように変化してきたかを報告してください（1200字以上1600字以内）。

	介護職の倫理の実践的理解と展開	
--	-----------------	--

担当講師名

鹿児島県介護福祉士会

会長 田中 安平

研修領域	実施期日	会 場
ケア領域	令和7年9月20日（土）	沖縄県総合福祉センター西棟4階本会事務局 （zoom ミーティング実施）

到達目標

- ①利用者の生活スタイル、生活経験、心理、社会関係、地域を含めた生活環境などを含めて、利用者の生活全体をとらえ、生活全体を支援する視点から職務にあたる。
- ②介護職としての倫理・価値及び、介護職の援助のあり方について理解したうえで、それが、医療サービス、家族や利用者本人の希望、あるいは制度との葛藤が起きる可能性や原因を理解し、適切な対応ができる。

修了時の評価ポイント

- ①介護福祉士の倫理綱領、事業所の理念について、介護の実践場面においてどのように活かされるのか、具体的に説明できる。
- ②対人援助職の倫理の考え方（倫理理論、倫理原則、道德規範、倫理的判断のための基準、医療・看護分野の倫理、生命倫理等）について、概説できる。
- ③介護職の価値・倫理に基づく支援と、医療サービス、家族や利用者本人の希望、あるいは制度との葛藤が起きる可能性について、事例に基づいて具体的に説明できる。また、具体的な葛藤場面の事例において、自分自身の価値判断を離れ、起きている事実・状況を理解したうえで、適切な対応のあり方について根拠に基づいて説明できる。

自職場等課題

【事前課題の内容】

自職場において医療サービス、家族や利用者本人の希望、あるいは制度との葛藤が起きていると思われる事例（倫理的規範に基づくケアが実践されていないと思われる事例）に対する「日常的な実践内容」を具体的に記述し、なぜそのような葛藤が起きているのか、どうすれば利用者の意思を尊重した支援につながるのか、あなたの考えを述べて下さい（1200字以上1600字以内）。

【事後課題の内容】

講義を受けた後で、倫理的規範に基づくケアを実践しようとして職員の意識・態度、もしくは自分の意識・態度が変化したと思われる事例について、具体的にどこがどのように変化してきたかを報告してください（1200字以上1600字以内）。